

諮問委員会「答申発表会」を開催 ～ 役職員270名が参加 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は2月8日（金）、諮問委員会の答申発表会を本店2階大ホールなど5会場で開催しました。

本委員会は、職員が経営改善に向けた課題解決策を検討のうえ、意見具申することを目的に昭和58年に「各種研究会」としてスタートし、今回を含め、これまで192のテーマに延べ1,289名が取り組んできました。

委員会では、当金庫が直面する5つの経営課題をテーマに、職員25名（1テーマ5名編成）が半年間かけて議論し、それぞれ提言を取りまとめました。今年度は、委員を立候補で募集するとともに、発表会はテーマ毎に5つの会場に分けて行い、各委員長および委員からの答申概要の説明の後、活発な質疑応答が行われました。

当金庫は、職員からの意見や提案を積極的に金庫経営に取り入れるとともに、本委員会を職員が職場横断的に自由闊達に議論を重ねて、刺激を受けながら共に成長する場と捉えて、継続的に実施してまいります。

記

1. 開催日時 平成31年2月8日（金） 18時～19時
2. 開催場所 本店2階大ホールなど5会場
3. 参加者数 270名
4. テーマ
(1)都市型信用金庫の将来ビジョン
(2)課題解決型金融の検証と顧客満足度の向上
(3)AI、IoT技術を活用した新たな金融サービスの提案
(4)顧客目線による営業店業務の効率化策
(5)ビッグデータの解析と金庫業務への活用策



発表の様子



福岡副理事長による講評

以上